

令和6年度 第13回

日南市教育委員会

会議録

令和7年2月19日（水） 午後3時から
日南市役所 別館2階会議室（会議室5）

- 1 会議の名称 令和6年度教育委員会 第13回会議（定例）
- 2 会議日時 令和7年2月19日（水）
午後3時から午後4時35分まで
- 3 出欠確認
 - （1）出席委員 都甲政文、黒木由香、別府信一、八木真紀子、佐藤泰信
 - （2）事務局 教育部長兼学校教育課長
学校教育課学校教育担当監
生涯学習課課長
学校教育課課長補佐兼教育係長
学校教育課課長補佐兼管理係長
学校教育課管理係主任主事
- 4 場所 日南市役所 別館2階会議室（会議室5）
- 5 傍聴者 1名
- 6 開会
【都甲教育長】
「それでは、令和6年度第13回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。教育委員5名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【藤岡担当監】
「事務局は、鬼束教育部長と重永生涯学習課長が後から参加ということになっております。」

【都甲教育長】
「傍聴の方は本当は2名のところですが、1名です。よろしくお願いします。」

8 活動報告

(1) 教育長活動報告

【都甲教育長】

・1月24日、文化財防火デー。消火訓練。これ毎年やってますけども、1月26日が文化財防火デーですね。金閣寺が焼けた日なんですけど。それなんですけども、今年は榎原神社で訓練がありました。榎原小学校の3年生も見学に来てですね、あとは榎原の消防団の方も出ていただきました。

・それから同じ日ですけども、これドラム TA0 っていう大分に本拠地がある太鼓の集団ですけれども、10年続けて日南に来てくれてるってことで表敬。団長の方がお見えになりました。

・それから1月25日、地球温暖化対策講演会。これ日南市が地球温暖化対策にも取り組んでいこうということで、MRTの気象予報士の野田さんが来られてですね、なされました。高校生とかですね、一般市民の方も結構来られて、文化センターは8割方入っていましたね。やっぱり野田さん有名人なので、効果があったのかなと思いました。

・そして同じ日、それから翌日にかけて宮崎県的女子駅伝大会。もう42回になるんですけども、その開会式閉会式。日南の選手も頑張っていたんですけども、なんか今高校生にこの長距離を走る子があんまりいないらしくて、どうしてもその日南の子たちは中学生中心になってしまっているってことで。小林とかはね、もう小林高校の女子がいますので。やっぱりそう言っても走りを見られるだけでも素晴らしいなと思っていました。

・それから27日ですね。これオゾン除菌脱臭機贈呈式でした。これ球場にですね、キャンプで来ているんですけど、プロ野球が。そこにこのオゾン除菌脱臭機を寄付すると。日南学園の野球部のOBの方が代理店をやられていて、いただきました。なんかいいにおいのしてくるやつなんですけど。球場でキャンプが終われば他のところでも使ってもいいってことなので、またいろんなことをまた考えていきたいなと思っています。

・続いて1月28日。教育研究所。昨日閉式しましたけども、この中の1年生の授業を湯上小学校で見ました。スイミーといってですね、昔からあるやつなんですけどね、その授業でした。

・それから1月29日、今度飢肥小学校に行ったんですけども、これは昔の遊びをするってことで、1年生だったですね。1年生のところに地域の方や保護者の方、そして振徳高校の福祉科の高校生が来てくれてまして、一緒にわーわ一言いながら遊んでました。やっぱりいいですね、1年生が高校生を見る目っていうのは。キラキラした目でお兄ちゃんお姉ちゃんを見てですね、また高校生もこうなんか優しい顔になってですよ。いい感じでした。

・それから次に15日これインバウンド事業見学。実はニュースであったんですけど、鶴戸神宮ですね。おいしい料理を食べながら、剣道のね、居合とかを見るってやつ。あれをやってまして、その最終日だったからちょっと見に行きました。なんか社務所の中に1組

だけテーブルがあってですね。おいしい料理を食べて、その人たちのためだけにこうやってくれるっていう、とても高級感がある感じでした。また予算がつけばやるってことですね。

・それから次の日は、今度は大堂津小学校に行ったんですけど、これはですね、大堂津小学校の校長先生の発案で、リモート授業で山の学校とですね、やっぱ山間部の学校としようってことで。今年はえびののですね、小学校3、4年生でしたけども、やってみました。お互いの学校のよさとか、給食のこととか話をして、やっぱり小学生反応がいいですね。なんかほー、とか言いながらですね。そういう感じで印象に残ったこともたくさんあったみたいです。

・1月30日、九州都市教育長会議ですね。協議会の理事会が持ち回りなんですけど、その後半に我々も、宮崎県の9つの市の教育長も集まって意見交換会に出させてもらって、いろいろしたんですけど、やっぱり部活動の移行とか、給食の無償化とかいうことが結構話題になって、何と別府はですね、温暖化っていうか暑さ対策で、市内の小中学校の体育館に全部冷房が入ってるというのを聞いて。そしたらなんか今度都城も入れるみたいですね。都城は学校が避難所になってるところも結構あるみたいなので、そこからまず冷房を入れていくと。都城だけで50億ぐらいって言ってましたね。日南もぜひ、なんかやってくれることになればいいんですけどね。やっぱ別府あたりはそう。もう別府は本当トップダウンで市町村がやろうって言ってやってます。

・それからですね、1月31日。中部教育事務所が来まして、今人事やってるんですけどその人事の途中経過を聞きました。

・そして2月1日。報道もあったんですけど、埼玉西武ライオンズが市内の小学生全員に帽子をくれまして、2300個ということで、そのお礼を渡す式があったものですから、ちょっとお礼を言いに行きました。南郷小学校の子供たち2人がですね。帽子をもらって、その大きい紙を渡してですね、頑張ってくださいってやってみました。ねらいとしてはやっぱりこうね、今運動不足の子供がいるってことで、外に出て遊んで欲しいというようなことで、本拠地の所沢でもやってるらしいですよ。所沢でも同じようにやってて、社長さんと話したんですけど、やっぱり日南は第2のライオンズの故郷だから配ることにしましたということで、来年からも、1年生にはちゃんと帽子をもらえるってことで。だから日南の子供たちはいつもライオンズの帽子を持っているということになります。

・次2月3日、名勝鶴戸保存活用計画協議。これ鶴戸神宮のやっぱりいろんな周辺をですね、しっかりその保存していかなきゃいけないっていうのがあって、その計画を立てなきゃいけないということで。何ていうか、計画の要を詰めに行くってことで、その打ち合わせをさせてもらいました。

・それから2月4日、総合教育会議。本当にご協力ありがとうございました。いろんなご意見出していただきまして、総務課も一生懸命頑張って教育大綱を考えました。

・2月5日、校長会だったんですけども、結局2月になると、もうこれ最後に近い校長会なので、今年度の締めくくり、そして来年度に向けて整理と準備をちゃんとして欲しいと

いう話をしました。

- ・そして2月5日、読書感想文感想画表彰式。非常に和やかな雰囲気で行うことができました。

- ・2月6日、育英会の理事会。今年度のいろんなことを話し合っ、報告もしたところでした。

- ・2月7日、国際ソロプチミスト寄付金贈呈式。今年も3万円いただいて、もう大分な年数になりまして、ちゃんと国際ソロプチミストってなんかこう本棚もあってですね。良い形でいただけてます。お礼を言う中で、ついつい来年も来年もって言っちゃってですね、後から恥ずかしい思いをしたんですけど。

- ・それから日南市防災会議。これはいろんな関係が集まってですね、防災会議をしたわけですが、それぞれのやっぱり役割とかですね確認したところでした。

- ・2月9日、北郷温泉ミニバレーボール大会。非常にたくさんですね、77チームぐらい県内から集まってですね。びっくりしました、ミニバレーボールがあんなに激しいとは。そしてなんか若い人が多かったんですよ。49歳以下って一括りなんですけども、そしてらみんな20代30代なんですよ。バレーボールやっていた子達がやっていて、もうとてもとても。ジャンピングサーブから始まってですよ。なんかすごかったです。だから決勝なんかの話を聞いたんですけど、もう近寄れんくらいですよ。そういうのもあってですね、優勝はなんか、市外のチームが持っていたらしくてですね。残念だったんですけど。

- ・そして2月10日、日南学園の卓球部と女子ソフトテニス部がですね、全国大会出ること、市長表敬訪問してくれました。卓球はもう常連なんですけど、女子ソフトテニス部は初優勝ですね。宿敵の宮崎商業に勝ったらしいんですよ。卓球部はいろいろ出身校聞くと、やっぱりよそから来てる。女子ソフトテニス部は日南・串間から来てましたね。20数人いるらしいんですけどね。ああ、すごいなあと思ってですね。また今後も頑張っ欲しいなと思いました。

- ・そして先ほど言いましたように、10日の日はバレーボール協会の会長さんが見えになりました。

- ・13日は初期研修1年目の先生方のまとめの研修だったんですけども、非常に皆さん元気に最後まで研修を受けてくれました。

- ・2月14日はですね、県の新年度のいろんな事業の説明がありました。学力向上に向けて、県でまたテストをやるとかですね、そういうことも聞きました。

- ・そして17日、鶴戸神宮の祈年祭ですね。これに行きました。

- ・18日、昨日ですけども、教育論文の表彰式。そして教育研究所の研究発表っていうのがありました。

- ・今日の午前中は日南市社会教育委員の会。これ2回目なんですけども、いろんな生涯学習課関係の1年の事業についてご意見をいただきました。そしてそのあと中部教育事務所がまた来まして、人事の経過説明を。今最終的な段階に入ってるんですけども、説明を受けたところでした。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

2月の6日にですね、社会福祉協議会の委員長副委員長会の会議がありまして、その流れで2月の18日に同じ社会福祉協議会の審査委員会に出席してきました。今回の会議では物品と助成金に関する報告事項と、あと助成金の事業額に関する変更の協議が行われたところです。毎年人口の減少によって募金額が少なくなっているということと、あと社会福祉振興指定事業で各小・中学校に助成金を支出しているんですけども、今年は人数が少なくてその助成金を使いきれないということで、酒谷小学校が辞退されたということでした。

続きまして2月の18日ですね。教育研究会の閉所式と研究論文の表彰式。そしてサークル研究会の発表会に参加させていただきました。素晴らしい発表を聞かせていただいてすごく勉強になったところだったんですけど、あと毎年この会議出席して思うところなんですけど、先生たちがすごく貴重な時間を使って研究内容を発表したりとか、中には受賞されなかった研究内容というのはなかなか日の目を見ることもないっていうところもありまして、すごくちょっともったいないなという気がしております。この事業の目的っていうのが、その取り組みや成果を広く伝えることにより、教職員の資質向上に資すると書かれているところもありまして、何かですね、今回のその内容の取り組みっていうのを、自分が特に体育の授業の発表を聞いた時、こういったやり方でその子供が体育が好きになるはずっていうぐらいちょっと感動したんですけど、これ実際その教壇に実際立たれている先生が聞くとまた響くところとか、いろんなその参考になるところっていうのがあると思うんでぜひですね、多くの先生たちが共有できるような何かその仕組み的なそういった環境というのは作れないものかなと感じたところでした。

【佐藤委員】

よのなか先生としてちょっと南郷中の方に行ってきました。非常に楽しくてですね。元気がよかったですわ、南郷中の1年生。もう聞くばかりではっていうので、結構質問を受けながらって感じだったんですけど。やっぱ野球部の子なんかは堂々としてですね。もう勉強はせんでいいと。僕は野球で一旗あげるからと。初対面の私にですよ。すごいなと。そういう話をする中でもですね、でもやっぱりそれに共感しながらも、こうやりとりをするなかで、やっぱり学力とかいろんな。野球選手にしても、やっぱりスキルも必要ですし、いろいろと人とやりとりする中では語彙とかですね。ある程度の知識がないとやっぱりやっていけないよねということで。だけど結構子供たちが、失礼な言い方なんですけど、私が意外と思ったのは結構友達と協力するとか、やっぱり助け合うとかですよ。その辺がやっぱり大事だというのは何か、感じてた感触はすごくよかったですね。どうしてもその知識偏重とかですね。いわゆる認知能力、数値化できるようなものに偏りすぎないで、そういう数値化できない非認知能力のことも結構考え

てるんだなって。だからそれは先生方のまたいろんなご配慮があつてからのことだと思うんですけど、すごく頼もしいなと思いました。つまらない話になると、もう明らかにつまらそうな顔になる。すごい緊張して気合が入りました。もう大分違うなと中学校もですね。それは思いました。

それからですね、新しい発達支援事業所の福祉課が主催する市自立支援の子供部会がありまして。そっちの方も参加したんですけど、やっぱりこの前も話しましたが、不登校がやっぱ大変増えてる。その原因が発達の支援が必要な子たちがそういうふうになる例もあるんじゃないかということで、発達支援事業所の方は何か協力したいという話の中で、やっぱ保育所等訪問ってこれは小学校とかにも行けるんですけど、かなり差があると。だから訪問した時に、もうよろしくお願いしますということで受け入れてくださるところと、なについていう感じで言うところ。それから本当は状況を見てそういった発達支援の専門家としてのアドバイス、こうした方が良いか環境後援っていうのが本来の目的ですけど、いち職員としてですね、もう何か入ってくれみたいな感じで、ちょっとそれ趣旨が違ってくると思うんですけど、そういうところもあつて結構学校によってバラバラだという意見が出たんで、また何かの機会にですね、知り合うというか、理解し合うというか、なんかそういう機会があるといいなというふうなのがありました。

昨日は日南高校の協議会に行つてですね。やっぱり日南高校も、その例えば朝課外とか夕課外とかをもう選択制にするとかですね。子供たちのやっぱり主体性を大事にすると。行事なんかも子供たちの意見を取り入れていろいろ企画するということで、そういうのがもちろん受験で希望する進路が実現するようにというのはすごく、1つあるんですけど、やっぱそこでゴールじゃなくて、その先のことを考えるとやっぱ子供たちのそういう主体的な取り組みでそれがやっぱシビックプライドとかですね、そういうところにも繋がっていくということで、いろんな工夫されてたなと思いました。

さっき振徳高校との交流の話がありましたけど、なんかあの辺もやりたいと。地理的にうちの幼稚園が近いんで、カトリック幼稚園によく来てくださって読み聞かせとか、保育なんか授業の一環で子供たちと触れ合ったりとかいうのはいっぱいあるんですけど、他の小学校中学校との交流もやりたいというふうに言われてました。あと探求学習ですかね。あれで言うといろいろとやっぱり調べて、いいアイデアとか発表したりするんですよ。だから子供議会じゃないですけど、何か1つまたそれが実際に実現するといいですね。教育長が一生懸命それを考えていらっしゃるんですよ。

あと防災の話も出て先ほど防災会議がありましたけど、だからこの前の地震もそうだったし、線状降水帯。高校側もいろんなところから子供たちが来るんで、非常に困ったしハラハラしたしっていうところでやっぱり、なんですかね。そういう、ある程度その施設ごとではなくて、やっぱり地域で。行政も支援していただいて、やっぱ対策を考えないという話も出たんで。先ほどの防災会議でね、何かこう広がると。そういうのが出ておりました。

【八木委員】

私は16日の日で、この間話したわけものの主張の県大会の方に参加させていただきました。優勝した子が都城の高校生だったんですが、やっぱり小中学校からちゃんと主権者教育を受けたいということを発信していましたので、こないだのお話だと思うんですが。あとポーター制度とかいろいろ若い意見を取り入れてたんですけど、どうやったらそういう主権者教育というのが小中学校まで、多分今はないと思うんですけど、どうやったらこれから入れられるのかなあと思ったところです。

あとは昨日ですね、私の方も教育研究の表彰式のほうに参加させていただきました。参加された先生方の情熱を本当に感じて、子供たちの成長のためにも本当研究と実践をすごい頑張っている。市全体の教育力の向上に繋がるんじゃないかなと感じました。

【黒木委員】

私も昨日の論文表彰式と発表会なんですけど、やはり別府委員と同じように体育の先生。なんか体育の先生の発表はもう感動で、こんな体育の授業だったら私は絶対体育が好きだったって思っただけで、本当に根本的に体力を上げるっていう、速さを競うとか競技に順位をつけるじゃなくて、自分の中でゴールを決めるっていうその主体性だったり、それを達成したときの達成感と一緒に多分結果がちゃんと伴ってるので、本当こういうことも、他の先生にもなんかこう共有できて、先生たちで異動があるから、そういった日南でこう学ばれたというか、研究されたことが県内に広まっていくとか、そういう何かこう流れができると、とても何か子供たちにはすごくいいことなのかなというふうに感じて、本当に昨日は夜のうちの話題でした。多分これだったら私は体育が好きだったみたいな話をして。

で、そのあとにちょっと「ヤッチャの学校」という大学生を呼んで、その1ヶ月後日南で生活してもらうっていうのをやってる方がいらっちゃって、その入校式があったので、ちょっとそこの入校式だけ1時間ほど行ってきました。この春休みには5人の大学生が全国から。男子が4名女子が1名来て、この日南の企業さん、協賛いただいている企業さんのところに、補助に行ったりとか、日南で生活をしながら油津のゲストハウスを拠点に生活しながら。結構そこに来られた方は日南のことを好きになって、また元の場所に戻っていくんですけど、そういったところもなんか高校生中学生あたりがこうなんかちょっとこう見れると、そういう地元のよさを改めて感じれたりする機関にもなったりするのかなあと思ったりしながら、小さく小さく活動されてるんですけど、すごくいいキャリア教育だなと思いつつ、ちょっと参加させていただきました。

【都甲教育長】

昨日の研究論文の表彰式ですけど、正直ちょっと頭打ちになってるのは確かなんです、出してもらう数が。もう自由っていうか、もう強制してませんので。もちろん校長

先生にお願いするんですけど、やっぱりただ学校教員というのはずっと勉強し続けなきゃいけないので、それはぜひ続けて欲しいなと思って、昨日優秀賞をもらった吾田東の渡辺先生って女性の先生がですよ。彼女は去年この発表会を見に来て、論文を書いた。で、呼んで、すごいねって。去年見に来てよねって。今回は賞表彰じゃないっていう話したらええって言ってましたけど。あと研究所のいろいろリーダーをしている由浅先生ってちょっと小柄な彼なんかも去年見に来てやってくれて、そして刺激を受けてじゃあ今年チャレンジしますってことで来てくれて、1年間しっかりリーダーとしてやって。今日各学校の校長先生に連絡したんですけど、やっぱり校長先生たちしっかり今朝、今朝ですね。今朝がやっぱり大事ですから。その先生たちに一声かけて素晴らしかったよという話をしてくれて、1年間成長したよねって話をして、今日を締めくくってありましたって話をみんなに聞いて、ちゃんと校長先生たちもそのフォローっていうかね、してもらってんだなあと思ったところでした。やっぱりその日南の先生たち、割と若い先生も多いので、やっぱりああいうのが刺激になって、別府委員がおっしゃるようにいろいろ広げていってですね。チャレンジしてもらいたいかなあと思ってます。今後考えられることとしては、1年目2年目の先生あたりは昨日の発表会にちょっと来てもらって見てもらうとかね。吾田小の体育の図師先生は、彼は自分でも言っていたように3年間体育専門の教員として頑張ってきてですよ。だからある意味彼としては、結果を出さなきゃいけないってプレッシャーもあったわけですよ。ただそれで彼は非常に成長しましたね。やっぱり工夫をして、その結果も残して、やってくれたので、何か発表見て頼もしく感じました。

皆さんがおっしゃるように、それを昔やったのがうちの藤岡担当監。延岡で、もう走りの頃です。小学校体育を充実させようということで、はい。その時から苦勞して、みたいな。ですからね、ああいう制度もあるんだよって。だから小学校も今働き方改革もあって、教科担任制をですよ。徐々に入れようとしているじゃないですか。そういうところで、今後は小学校にああいうスペシャリストも出てくるのかなと。社会科とかですね、図画工作とか。楽しみにしたいなと思っています。ありがとうございました。

【八木委員】

先生たちは資料を見る機会があるんですか。

【都甲教育長】

冊子にしますので、教育論文の全部ですね。あれを各学校に配っておりますので、もっというと、その冊子を参考にちょっと研修会もしてくれたら一番いいですよ。やっぱり届きましたって置いておいてもなかなか見ないので、どっかで。例えば自分の学校の先生のがつが入ってるんだったらそれを見て書いた人がいるので、その人を講師にやったりすると。そうするとまた違うんですけどね。何かそういう風なことをまた働きかけていきたいです。

9 前回の議事録承認

第 11 回の議事録について了承

10 議事について

議事 1 本年度の活動実績の振り返りと次年度の研修計画（案）について

(八木委員)	なんかオンライン研修で勉強する機会がすごく増えたなっていう感じでしたね。もうだからいろんな全国の教育委員さんの方とお話をする機会が増えて、いろんな取り組みが見えた 1 年でした。何かすごく忙しかったです。勉強させていただきました。
(別府委員)	八木委員のオンラインの研修に関してなんですけど、やっぱりいろんな出張、全国の教育委員の人たちとやっぱりお話させてもらって、ここの教育委員会はこういう特色でやってるんだっていうのもやっぱりあったんで、日南市ならではの取り組みって多分あると思うんですね。で、それやっぱりいろんな事業あるんですけど。意外と日南だけの取り組みなんだけれども、自分たちがこれ多分他の市町村もやってるんだろうなというところもあると思うんで、なんかそういったチラシを、日南市の取り組みっていうのが何か分かれば、すぐオンライン会議の時に自慢したいなと思ってるところではあるので。またいろんな日南ならではの取り組みをちょっと、またいろいろと教えてもらえると嬉しいなと思ったところでした。
(八木委員)	出かける教育委員会がすごい皆さん良いですねって。
(別府委員)	日南市だけなんですかね。
(八木委員)	それはすごいねって、そういったことを言われました。
(都甲教育長)	次、どこまでも出かけられますよ。こっちに行ったら鹿児島まで行きますからね。この前の高千穂を考えたら。鹿児島県内ね、鹿屋の教育長さんなんか非常に熱心な方なので声かけたら OK って言ってくれるんじゃないですかね。こうやって見ると、本当 6 年度もいろいろすみません。いろいろなんか引っ張りまわしたり、いろいろ出してもらったりとかして。
(佐藤委員)	あと別府委員の話と関わってるんですけど、日南市はこういうところ、っていうのをやっぱりちょっと勉強不足で、なかなかしっかりと伝えられていなかったなというところもあるんで、ちょっと事前にはしっかり学んで。
(都甲教育長)	やっぱそれは我々にも責任があります。やっぱりちゃんと事前に

	レクチャーして、ぴしゃっとね。持っていったもらわないといけないし。
(佐藤委員)	資料とかはね、いただくんですけど。なかなか読み込みが。
(八木委員)	各教育委員会の取り組みですけど、かなり細かいことを皆さん言われるけど、私はそこまで。資料も読むだけで。
(佐藤委員)	グループの中に教育長とかいらっしゃると。それはそれは詳しく言われたりしました。
(八木委員)	言えなくて勉強不足だったと、すみませんって言ってます。
(都甲教育長)	そこら辺は聞くってことも大事だからですよ。全然そういうのは気にされずにいただければと思います。本来ならやっぱりこうね、どっかにね、ちょっと遠出でもして、もっと高千穂より遠出して、ゆっくり研修会とかに出ていただきたいんですけど、ちょっと予算もなかったものですから。そういう点ではリモートでやるっていうのはいいなと思ってですね。ぜひ今後も出ていただきたいですし、参加することは大事なと思います。
(佐藤委員)	高千穂のは何か取り入れられるようなものとか、なんか方向は見えているんですかね。
(都甲教育長)	もしかしたら何かしら考えられるかなと思うんですけど、今うちの場合はまずその給食無償化が始まって、そこ辺をどうして行くかっていうのも出てくるので、その絡みも出てくるし。あそこで出たように生産者との関係とかもあるし、そういうところを整理しながらですね、やっていく必要があるのかなって。あそこもそうでしたけども、教育委員会だけじゃなかなか難しい。農政とかやっぱりそういう農業関係のところと、あんまりうちがこう走りすぎてしまうとね、農政課とかの付き合いとかね、関係もあるし。そんなところで、やっぱりこう市役所横断的に考えていく必要があるのかなあということですね。まずはそのそういう考え方のある方からちょっとお話を聞く会を設けるとかですね、そういうところから入っていかんと、じゃあそれを誰が言ってるんだとかなってくるし、そんなところをですね。
(佐藤委員)	うちの幼稚園が無農薬とかやろうと思ってるんですけど、やっぱりもう本当難しいんですよ。安定してその食材が入るか。ちょっとただでさえ高くなってるのに、さらに高いわけですよ。別府香織さんっていう栄養士の方に相談したりするんですけど、出汁粉っていうやつを教えてください。だからそれは出汁を簡単にするために粉末状にしてあるんですけど、出汁は出汁で取るんですよ、ちゃんと。

で、それを振りかけるんですよ。いりこだったり、昆布だったりのミネラルが入ってるんで。だから無農薬とかそういうオーガニック野菜って何が良いかというと、ミネラル分が豊富だったり、ミネラルを吸収するのを阻害する添加物が少ない。でもそれは難しいので、じゃあもうミネラル増やしちゃいましょうと。その粉末、これがまた安いんですよ。たしか 95 グラム入りで三百数十円で生協に売ってるんですよ。うちの規模だったら、半分ぐらいで足りるんですよ。あんまり入れすぎると、何か黒いブツブツみたいなものが浮いてるぞとか変に見えますからね。またその出汁だから、また微妙にその洋風の料理が和風になったりして、入れすぎるとあれなんですけど、ちょっと入れると。だから 1 日百何十円ですわね。ミネラルを摂れる分が増えて、よその実践でやっぱり体調が良くなったとか、休む子が減ったとか、子供に落ち着きが出たとか、先生の話が聞けるようになったとか、効果が出てるっていうのもあるんで。結構それだったら安くですね、取り組みやすいかなって。料理する時にまぜればいいってそういう話ですから。

(都甲教育長)

結局それなんかですよ、廃棄する予定のものを粉末にしたわけですよ。例えばいりこ出汁を取って残ったようなものを粉末する場合もあるんじゃないですかね。そういうものなんかじゃないとそんな安くはならんじゃないですかね。

(佐藤委員)

どうなんですかね。ちょっとそこは分からないんですけどね。やっぱりね、そういうものですね。これだったら簡単に始められるなっていうのでちょっと。なんかそういうふうに出汁に入れて、それでちょっとミネラルをとっていう、はい。

(都甲教育長)

栄養教諭の先生方もやっぱり県でこう集まっていろいろね、やっぱりとかしてますので、なんかそういう情報ももらいながらやっていきます。

(佐藤委員)

YouTube でも出てましたね。ほとんどがダイエットとかなんですけど。それ代謝が上がるからね。その代謝が上がるっていうことは良いことですもんね。

(黒木委員)

去年が震災というか、雨とか地震とかもちょっと衝撃的な規模のものが来たので、各学校の緊急時のお迎えとかそういうところについてやっぱり各学校取り組まれているけど、問題を抱えたまま、結局次の年に持ち越しみたいな。油津小学校だったかな、行った時に、車が結局お迎えの時にとかっていう問題は先生たちもわかってるけど解決しないまま、また次の年に持ち込み持ち込みになってるとこ

(都甲教育長)

ろもあるなと思ったりもしたので、吾田小とかも大変そうだし、今一度やっぱりその本当に解決しとかなないと、本当にやっぱり地震や線状降水帯みたいな雨も来て、次同じようなことがあって何かがあった時に、前もあったよねって。あの時にちゃんと解決してなかったのみたいなことになっても怖いかなっていうのもあったり、保護者も保護者でそれなりに多分考えたと思うんですけど。やっぱり登下校中のことも。必ず学校にいるわけではないから、そういった防災については、今ひとつちょっと心もとないところがあるところは見直したほうがいいのかなっていうふうな感じで考えて。

これ来年のことなんですけど、前から言ってますように、市の学校一斉に同じ日に避難訓練をしますと。それはもうちょっと大きい地震が来たと想定して、教育委員会でもみんな集まって情報が入ったね、集めてこうだねっていうことを、そこまでやる。だから場合によってはその時を利用して引き渡し訓練までする学校も出てくるかもしれませんね。

今回今年はいろいろあったけど、雨以外は幸い学校じゃなかったもので、そこら辺をしっかりと考えていきたいと思います。今後はないとは言えないからですね。今年はあることがあった。今年度あったので、そういう気持ちが薄くならないうちにね、やってく必要があるのかな。そこら辺は考えていきたいなと。

そして、意見として一つ出るのは、うちとしては10月ぐらいにいろいろ準備をしてやりたいんですけど、学校としてはもう4月からやりたいというわけですよ。結局いつ起こるかわからない。その気持ちはものすごい大事なので、4月は4月で学校独自でやってくださいと、1年生も入ったばかりだし。あと10月については全体でやりましょうっていう話になってますね、今ね。そういう意味で防災にちょっとこうね、気持ちを向けながら。だから、1つ今年考えたのは、中学3年生に毎年卒業記念のお祝いをやってるんですけど、今まで印鑑だったんですけど、もう印鑑いいかなって。そういう筒に防災グッズの入ってるものを今年はちょっとあげようかなあと思って。笛とか入ってるやつですね。ちょっと配ってみてどうかなって確認する。割と安くで手に入ったので、そういう反響も見ながら、うん。

(八木委員)

ちゃんとやっぱり教育委員会もすごい防災についてはもうかなり取り上げてます。最初の挨拶にも入ってましたけど、しっかりやって、やっぱり学校は避難所になるということですよね。だからそ

	このところも絡めて、私ここに書いたんですけどそういうことまたやっていかないと。地震も心配なんですけどやっぱり雨が降ると思うんですよ。ちょっと毎年すごいですよね。
(都甲教育長)	では、よろしいですか。本当 6 年度はいろいろありがとうございました。続いて 7 年度の計画なんですけども、これは事務局から。
(上村課長補佐)	次年度の研修計画（案）について説明
(都甲教育長)	それじゃあ、もうこれについては持って帰ってもらって、考えてきてもらうということでよろしいでしょうか。

議事 2 3 月議会上程議案等

(令和 6 年度 3 月補正予算・令和 7 年度当初予算) について

(鬼東部長)	3 月議会上程議案等（令和 6 年度 3 月補正予算・令和 7 年度当初予算）について説明（学校教育課）
(重永課長)	〃 （生涯学習課）
(別府委員)	7 ページなんですけれども、タブレット用の端末、AI が新たに今回導入されたと思うんですけども 554 万 4000 円というのは、これは毎年かかっていく金額なんですか。それとも一発でもう終わる感じなんですか。
(森課長補佐)	これは年間の使用料という形になりますので、毎年ございます。
(鬼東部長)	まずですね、令和 7 年度の予算について、ちょっと私の説明が漏れていました。前段的にまず市長選を控えておりますので、今回骨格予算となっております。ですので 6 月補正でいわゆる肉付け予算ということで、市長の政策的なものについては 6 月の補正で行います。そこが漏れておりました。ということで、また 6 月議会で改めてその新たな政策的な経費についてはご説明をさせていただくことになりますので、よろしくお願いします。
(都甲教育長)	つまり必要な分だけですね、組んでるってことですね。こうやってみるといろいろお金かかりますね。
(重永課長)	スポーツ施設とかにつきましてはですね、工期の関係などがございまして、急ぐものではありませんけれども、大型でということで、今回もうすでに記載をさせていただいているところでございます。
(鬼東部長)	今の重永課長の話はこの 12 ページの体育施設管理費ですね。8 億のやつで、通常であれば肉付け予算なんですけども、今重永課長が言われた通り、これについてはもう工期の関係があつて後ろが決ま

(都甲教育長)	ってますので、どうしてもちょっとということなんです。 早めにやっぱりやる必要があるということですね。よろしいですか。今度の３月議会を経て、これは正式に動き出すと。この予算ですね、ということです。
---------	---

議事３ 日南市公園条例の改正について

(重永課長) (別府委員)	日南市公園条例の改正について説明。 今まで利用者っていらっしゃるんですか。
(重永課長)	利用者はですね、南郷の方はもうすでに開放してますので、数名はいらっしゃいます。そんなにバンバン使うということはないと思います。ただプロ野球キャンプが終わってから、大学の合宿とかですね。そういった方々はですね、よく使われる。後はもう、一部トレーニングに力を入れていらっしゃる市民の方がたまに使われるような状況です。今後こういった情報は市のホームページを通してとかですね、出していきますので、少しずつは広がっていくのかなと思っています。
(都甲教育長)	せっかく買ったので、球団としてもサビさせるよりは使ってもらって、その分使用料とったらどうですかという。120円。これは他所の市とも確認しながら比較して、大体こういう値段ね。本当安いですよ。だから大学生の合宿なんかの時はいいですよ。やっぱりかなり安く抑えられて、はい。

議事４ 日南市立酒谷コミュニティセンター条例の一部改正について

(重永課長)	日南市立酒谷コミュニティセンター条例の一部改正について説明。
(都甲教育長)	なんかあれですね、もともとなんか利用料がかなり安かったんですね。
(重永課長)	当時酒谷ダムの整備に合わせて、そのあとぐらいに多分このコミュニティセンターが整備されているものとお聞きしておりますので、その当時の設定金額がこれぐらいでいいんじゃないかと、いうところだったのではないかなと。その時の水道料金とかも勘案してですね、設置されたのではないかと。

(八木委員)	利用者は多いんですか。
(重永課長)	利用者は結構おられまして、団体で利用される方が都城あたりからも来られたりとかされていると聞いております。前はテントとかも貸し出していたみたいなんですけど、テントを借りる人は今の時代あんまりいないですね。大分老朽化もしてますけれども。
(都甲教育長)	もう8月8日の地震の時もなんか利用者がおられたみたいですね。

議事5 日南市学校給食共同調理場設置条例の改正について

(鬼東部長)	日南市学校給食共同調理場設置条例の改正について説明。
(都甲教育長)	はい、細田がなくなるってことで、それを削るってことですね。よろしいでしょうか。
(佐藤委員)	やっぱり提供する数が減ったからですか。
(鬼東部長)	生徒数もありますし、それと今正職員が3名いらっしゃるんですけど、そのうち2人が退職。あとはやっぱり人がなかなか確保できないという問題もありまして、ちょっと今回もうここを閉鎖するということになりました。
(都甲教育長)	中央から今度運ぶのが一番遠いのはどこなの。南郷。
(鬼東部長)	榎原まで行きます、はい。だから逆に北郷の方が北郷小中と東郷、吾田東です。鶴戸は鶴戸でやりますので、それ以外は全部もう中央の方でカバーするということになります。

1.1 その他

(1) 3月行事予定について

(2) 教育委員会会議（臨時）

- ① 日時 令和7年3月13日（木）午後3時から
- ② 場所 教育委員会応接室（ふれあい健やかセンター3階）

(3) 第15回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 令和7年3月19日（木）午後3時から
- ② 場所 市役所別館2階会議室（会議室5）

(4) その他

【藤岡担当監】

「教育基本方針につきましては、もうパブリックコメントまで終わりましたので、このまま行かせていただきます。」

12 閉会